

東峰村のこうなったらいいなをみんなで語る会 活動報告 vol.2

令和6年6月27日(木)

不安を安心に変える。地域に笑顔を増やす。

特定非営利活動法人ほほえみの郷トイトイとは…？

山口県山口市阿東地福地域において、「地域の絆でつくる笑顔あふれる安心の故郷づくり」をキャッチフレーズにした、住民一人ひとりが主体となった地福地域の課題解決のしくみづくりのための地域拠点となっている団体です。



特定非営利活動法人ほほえみの郷トイトイ
副理事長 兼 事務局長 高田 新一郎さん

※山口県山口市阿東地域：人口約5,000人、世帯数は約2,600世帯、高齢化率は59%。少子高齢化や人口減少が進行

地域課題の解決は目的ではなく、地域の将来ビジョン実現のための手段である。

- ▶ 地域課題に対する対処療法的な方法を続けると、「次、また次…」と繰り返すことになり、住民の疲弊にも繋がってしまう。
- ▶ まずは、「この地域がどうであってほしいか」将来を思い描き、地域の課題を抱えたときに、解決する仕組み作りが必要。

トイトイはみんなで育てる場所。小さく生んで、大きく育てる。

- ▶ 『地域の未来は地域主体で描き、責任を持つこと』、『地域主体で覚悟を決めて一步踏み出すこと』が大切。
- ▶ そのためには、合意形成でなく、共感によるつながりが必要になってくる。



高田さんからのキーワード

ノウハウ×マインド まずは、大切なのはどっち？

- ▶ 地域課題の解決にむけて話し合うと、ノウハウ（方法論）に偏りがちだが、まずは『どんな気持ちで』向き合うのが大切。
- ▶ トイトイ構想は、子どもたちに諦めたり、だれかのせいにして大人姿を見せたくないという気持ちからの出発だった。

幸せの価値観を共有する。

- ▶ お互いの価値観を尊重することで同調ではなく、共感になり、地域がよくなっていく。
- ▶ 一人ひとり違う『幸せの価値観』を知っていき、共有することで、人口減少は止められないかもしれないが、地域に笑顔を増やすことはできる。



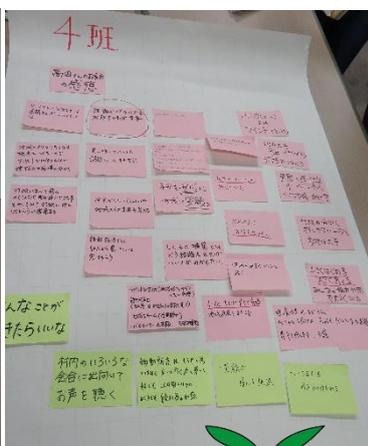
グループワークにて、

・高田さんの話を聞いての感想
・東峰村がこうだったらいいな
を話し合いました！



東峰村のこうなったらいいなを語る会の感想・まとめ（一部抜粋）

- ▶ 最初はこの協議会は『買い物の話し合い』だと思っていた。今日の高田さんの話を聴いて、買い物だけでなく、東峰村の未来を話し合い、考えていく必要がある場だと感じた。
- ▶ 東峰村の住民が地域課題に対して意識を持つことから始める必要性があると感じた。
- ▶ 東峰村の未来のために、東峰村全体で、東峰村の住民が主体となって取り組む必要性を感じた。
- ▶ 東峰村の未来や将来像を描いていく必要性を感じた。



東峰村の買い物に対するアンケートへのご協力ありがとうございました！

現在、集計中です。

